

第4期八戸ポータルミュージアム中期運営方針（素案）に係る
アドバイザー会議での主なご意見と検討結果及び対応案

資料3

	氏名	箇所	ご意見	検討結果及び対応案
1	A委員	P5～11	①ピクトグラムが小さく見えないので、もったいない。	デザインを修正
2	B委員	P2【5年間の成果】	②こどもはっちは、親子の居場所になっているという点も、成果に入れてみては。	付属資料P14に記載
		P10【自主事業(居場所・仲間づくり)】	③ハード面も検討の余地があるのではないかと？机と椅子の設置や、靴を脱いでいられるスペースとか。広島駅に靴を脱いでいられるスペースがあり、はっちにもあれば良いと思った。オフになれる場所として。	ハード面の改修については、ご意見として受け止め、今後の検討課題としたい。 自主事業に組み込むか、キッチンカーイベント等、親和性を考慮しながら、人工芝の設置等を行うことなどは意識して継続したい。
			④市でいう「若者」は、学生を指している場合が多い。子どもがいない20代位の独身世代の居場所があると嬉しい。ただ、この20代は人口の比率は全体から見ると少ないかもしれない。	P5【1. 会所場づくり関連事業】に記載の●多世代が快適に利用するためのあり方の検討に含むと考える。 運営方針に記載している「若者」は、必ずしも学生に限定していない。
		⑤「若者のやってみたいを実現する企画の実施」について、主体性がなくてもいれる居場所が常設されると良い。	上記と同様。	
3	C委員	P9【自主事業・お祭り連携】	⑥実施期間に限らない情報発信は非常に大事。VISITもやっているが、まだまだ足りない部分がある。えんぶりの着付け体験は、なかなか無い企画で私共も手に負えない部分がある。外国人に喜ばれる。一緒に情報発信していきたい。	現場経験の豊富なインフォメーションスタッフも交えて、観光情報発信について、ハード・ソフトを問わず、関係部署・団体と連携した取組が重要と考える。
			⑦旅行会社の方を対象に、市内の視察をよく行っている。展示も改修しながらやっていきたい。	上記と同様。

4	D委員	P6【貸館事業・レジデンスの活用促進の検討】	⑧青森市にある国際芸術センターのようなものもある、レジデンスの利用を幅広くとらえても良いと思う	ご意見として受け止め、今後の検討に活かしたい。
		P8【自主事業・館内ライブラリ活用企画】	⑨ライブラリーの企画とても良い。場所が4階にあるのですごく行きづらい。1階にあると良い。	2階に設置していて、盗難が問題となった経緯がある。ブックセンターとの連携や、単発企画としては1階への展示も可能と考える。
			⑩ブックセンター、美術館、ZINEクラブと連携しても良い。	P4【取組スタンス】に「連携」を記載、過去にも自主事業で連携実績はあり、今後も継続しつつ、情報発信も工夫したい。
		P10【自主事業(居場所・仲間づくり)】	⑪物理的だけでなく、役割をつくってあげるのも居場所づくりになる。「まちぐみ」は、ふわっとしたボランティアで、役割を与えている。クリエイティブなボランティア。	今後も取組内容を精査しながら「まちぐみ」との連携を継続するとともに、P10【7.居場所・仲間づくり】などに記載の●若者のやってみたいを実現する企画の実施等を通じて、居場所づくりにつなげたい。
		P5【会所場づくり・2階から上階への誘導方策】	⑫問題だと思っている。特に4階のものづくりスタジオのアプローチが開館当初に比べて弱くなっている。4階のものスタジオの人たちも、もっと自主的に考えていかなければならない、店を出している人たちの一体感が必要。	P9【5.ものづくりを通じた新しい価値の創造】に記載の●ものづくりスタジオ支援事業の取組を行いながら、課題の共有や整理等をしていく必要があると考える。
		P6【貸館事業・市民公募型事業や市民連携企画の実施】	⑬はっちには伴走をもっとやってもらいたい。はっちにいと、アートのこともできる。	自主事業や貸館事業のご意見として受け止める。方針案にはP6【2.貸館促進事業】などに記載している複数の取組で対応できると考える。

5	E委員		⑭転勤族の親子向けの企画を、G委員とも一緒に、産業分野で何ができるのか、お金を落としてもらうにはどうしたら良いのかを、考えたい。はっちのコーディネーターと連携して取り組みたい。	今後のこどもはっちとの連携についてのご意見として受け止める。
		P7～【自主事業】	⑮「なくなった事業」について、たまに、復活しても良いと思う。事業が増えるだけでは駄目。カットしていくことも必要	P13【8評価の実施方法】に記載しているが、年度ごとに事業評価を行いながら、過去に実施した事業も含めて翌年度の事業計画を立てていく。例として和日カフェはシーズンイベントなどで類似企画を実施することも可能と考える。
		P7【自主事業・グリーンプロジェクト】	⑯やり方が（ほかにも）あると思う。（工夫できるのでは）	こどもはっちとの連携など、情報共有しながら実施内容を検討していく。
6	F委員	P6【貸館事業】	⑰コーディネーターデスクのようなものがあればよい。	P6【2.貸館事業関連事業】に記載の各種事業ほかで対応できると考えるが、事業名も含めて参考としたい。
		P11【自主事業・情報発信】	⑱中心街にあるLINEヤフーの事務所の方や、ITマーケティング協議会の人にも、もっとはっちを利用してほしい。情報を一斉に流せるしくみがある。	これまでも自主事業のPRなどで同協議会にアプローチしたことはある。情報の周知は館内外ともに常に課題であると考えており、P11【8.情報発信】に記載する各事業のほか、事業ごとに効果的な情報提供先や方法を工夫して行っていきたい。
		P13評価の実施方法	⑲美術館では3月にアートファーマーミーティングを行っている。はっちにもあったらいいのかな。はっちも昔は毎年2/11に周年事業のタイミングでふりかえりを行っていた。開催時期のタイミングは要検討。	興味を持つ「市民」との関係は大事。ご意見として受け止め、関係する方々とのふりかえりの場を実施する具体的方法については、アートファーマーとの関連を含めて考えていきたい。

7	G委員	P2【5年間の成果】	⑳成果というタイトルがふさわしくないのでは。取り組んでいたことはわかるが、成果に触れていないものがあると思う。	タイトルを「成果」→「主な実績」に修正するとともに、詳細は付属資料を参照する旨を追記。付属資料のタイトルを「評価」→「実績や評価等」に修正し、内容を修正したうえで、運営方針と併せて公表する。
---	-----	------------	---	---

第3期方針評価（修正案）に対するご意見

	氏名	箇所	ご意見	考え方と対応案
1	A委員	その他の成果・効果	㉑3.11の時にはちに市民が避難、先日の地震の際もはちに避難してきた人がおり、はちを開けたときいた。「災害あったときでも安心できる場所」というところも、何か加えたらどうか？	付属資料P17に追記
2	F委員		㉒はちは「高校生の居場所」にもなっているという点についても、少し触れてみてはどうか	付属資料P17に追記